

ヒメフタバラン

Listera japonica Blume

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では極めて稀産の植物である。(現況:RO)

形態

フタバラン属の特徴である2枚の葉が対生状に茎の中部に着くことは、フタバランと同じで、大きさもほぼ同大であるが、葉の形は卵形三角形で先が尖る。茎の高さは5~30cm、上部に2~6個の花をまばらに着ける。花被片は反曲して長さ2~3mm、紫色の着色部がある。唇弁は長さ6~8mm、先端が深く裂けて裂片は線状長楕円形長さ3~5mm。

国内分布

本州、四国、九州、沖縄に分布。

県内分布

中能登区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は3~5月。

生育環境

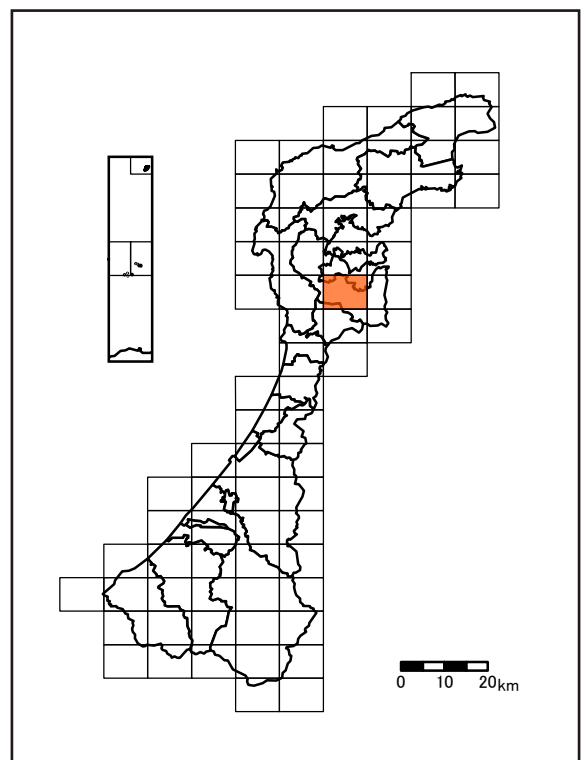
照葉樹林域の林床に群生。

危険要因

森林伐採、踏みつけ。



小野ふみゑ・2006年5月6日能登



県内の分布